

＜シンポジウム 10—2＞TIA の新しい概念と対策

わが国における TIA 診療の現状

峰松 一夫

(臨床神経 2010;50:907-908)

Key words : ABCD²スコア, 急性脳血管症候群, アンケート調査, 脳卒中

脳卒中の“前触れ発作”として有名な一過性脳虚血発作 (transient ischemic attack, TIA) は、従来は「脳虚血による局所神経症状が出現するが24時間以内に完全に消失するもの」と定義され、頭部CT上「責任病巣に一致する器質的病変をみとめない」とされてきた(循環器病研究委託費平井班, 1990年)。近年の画像診断の進歩、とくにMRI拡散強調画像(DWI)の応用、TIAをふくめた虚血性脳卒中の登録研究等により、1)症状が1時間以上続けばはいは梗塞巣の出現頻度が高く、2)梗塞巣検出例ではその後短期日のうちに本格的な脳梗塞を発症するリスクが高く、3)脳主幹動脈の狭窄性病変がTIAの原因であるばあいは、冠動脈疾患などの他の重篤な疾患発生のハイリスクでもあることなどが明らかとなった。これらの結果を踏まえ、TIA診断基準の抜本的見直し、その診断精度の検討、診断・治療体系の再構築が叫ばれている。たとえば、1)従来の症状持続時間を中心に据えた診断基準から、画像診断上の病巣がないことに重きを置く米国の新診断基準の提唱、2)TIA専門クリニックにおける迅速、体系的な外来診療が、その後の脳卒中発症を大幅に抑制し、医療経済的な貢献も大とする欧州の報告などである。

しかしながら欧州、北米とわが国とでは医療システムが大きく異なるため、これらの結果をそのままわが国に適用することは問題である。一方で、国内からのTIAに関連するまとまった臨床研究は非常に少ない。こうした情勢を背景に、平成21年度厚生労働科学研究費補助金による「一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討、ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究」班(主任研究者:峰松一夫)が組織された。脳卒中専門医療施設を対

象とした診療実態アンケート調査を実施し¹⁾、研究班所属施設での後ろ向き症例登録調査(約450例)を実施した(現在、データ解析中)。さらに、全国の多数の医療機関の協力をえた上での前向き登録追跡調査なども計画中である。

本シンポジウムでは、最近の国内臨床研究の概要や、前述の厚労科研研究班で実施した「TIA診療実態に関する全国アンケート調査」の結果などを紹介し、今後わが国において解決すべき問題点を考察する。なお、本テーマについては、すでに幾つかの総説、論文等でも論じているので、参考にされたい^{2)~4)}。

文 献

- 1) 上原敏志, 峰松一夫. 厚生労働科学研究費補助金による「TIAの診断基準の再検討、ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究」班: 日本脳卒中学会認定研修教育病院を対象とした一過性脳虚血発作(TIA)の診療に関するアンケート調査. 脳卒中 (印刷中).
- 2) Nakajima M, Hirano T, Naritomi H, et al. Symptom progression or fluctuation in transient ischemic attack patients predicts subsequent stroke. *Cerebrovasc Dis* 2010; 29:221-227.
- 3) 上原敏志, 峰松一夫. 一過性脳虚血発作の早期診断と治療の重要性. *神経内科* 2010;72:549-555.
- 4) 峰松一夫. TIAに関するパラダイムシフト. *循環器病研究の進歩* 2010;31:4-11.

Abstract**Current status of the diagnosis and management of transient ischemic attack in Japan**

Kazuo Minematsu, M.D.

National Cerebral and Cardiovascular Center

The diagnostic criteria and management strategy of transient ischemic attack (TIA) have drastically changed for these years. In Europe and the United States, community and hospital-based studies demonstrated a higher risk of stroke immediately after a TIA than previously considered. Urgent evaluation and immediate initiation of treatment reduces stroke after a TIA dramatically. We establish the Japan TIA research group, which is subsidized by the Ministry of Health, Labour, and Welfare, Japan. The group conducted a nation-wide survey using a questionnaire and a retrospective registration study to clarify the current status of clinical practice of TIA in our country. We are also preparing a prospective, nation-wide, multicenter registration study of TIA patients. These topics were reviewed in this symposium.

(Clin Neurol 2010;50:907-908)

Key words: ABCD² score, acute cerebrovascular syndrome, questionnaire survey, stroke
